

# むすびに「幸福」

オランダのホストタウンになり、あらためて「幸福」について考える機会を得ることができました。

教育研究家のリヒテルズ直子氏は、長年にわたるオランダでの生活を振り返り、どうしたら日本という国を幸福感の高い国にしていけるのか、次のように述べています。

「突き詰めて言えば、子どもたちの声に耳を傾けることだと思います。子どもが幸せに生きられる社会は、大人たちも幸せに生きられる社会です」

今日の日本社会を振り返った時、果たして「子どもが幸せに生きられる社会」でしょうか。残念ながら日々、悲惨で残酷なニュースが後を絶ちません。世界に目を向けてみても、紛争や飢饉により多くの子どもたちの命が奪われている国々は、決して大人も幸せな社会とは言えません。社会の矛盾や貧困等の問題のしわ寄せは、すべて子どもたちに及んでいるのです。その責任は、私たち大人にあります。

「子どもたちが幸せに生きられる社会」これが、社会の幸福度を測る最も重要な基準ではないでしょうか。

子どもたちの声に耳を傾け、子どもたちの笑顔と笑い声のあふれる町にすることが、社会全体と未来の三芳町を幸福にしてくれるのだと考えます。

今年一年、これまで以上に住民の皆さま、特に子どもたちの声に耳を傾け、三芳町の発展、住民の皆さまの幸福のためにまちづくりに励んでいきます。

住民の皆さま並びに議員各位におかれましては、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の平成31年度施政方針といたします。

—平成31年度施政方針より—



↑2月27日に行われた議会冒頭で、町長が施政方針を表明しました。

施政方針の詳細は、町のホームページをご確認ください。



## 伝統の農業システム

### 先人たちの遺産

今後の世界農業遺産の認定に向け、武蔵野の落ち葉堆肥農法の保全、調査研究、PRを進めます。昨年設立された「ぷらっと、みよし。協議会」は地域の多様な主体と連携し、滞在型グリーンツーリズムの確立に取り組みます。



## 新たな政策の創造

### 未来のまちづくり

有識者との魅力あるまちづくり戦略会議、未来創造みよし塾オープンサロンを開催するとともに、住民との対話を重視し、専門的、自由な発想と立場からの政策提言によってスピード感をもったまちづくりを推進します。



## 道路整備

### 道路の拡幅・修繕

道路整備については5路線の歩道整備、拡幅工事、雨水対策工事、7路線の修繕工事、部分舗装、構造物等の破損修繕を行います。三芳バザール賑わい公園構想については基本構想を踏まえ、実現可能性を検討します。



## 障がい者福祉

### 共生社会の実現

太陽の家の移転に向けて準備を進めます。医療的ケア児についてレスパイトケアへの支援制度を設けます。また、あいサポート運動を企業や団体にも広げます。聴覚障がい者緊急対応システム、初めての手話講座等を継続します。



## 高齢者福祉

### いつまでも元気に

高齢者にやさしいまちづくり懇談会、ささえあい・みよしの取り組みを続けます。介護予防教室、いもっこ体操、認知症カフェ、認知症サポーター養成講座などを行い、高齢者の生きがいづくり、家族への支援に努めます。



## 企業誘致・留置

### リッチな立地

スマートICのフル化が進み利便性がますます高まっていく中、東京から30kmという地理的優位性を活かすとともに、適切な規模の産業用地を確保するために、開発適地について調査検討を行い、企業誘致・留置を進めます。



## 平地林の保全

### 武蔵野の里山景観

平成30年度彩の国環境大賞優秀賞を受賞したみよしグリーンサポート隊の活動や、平地林萌芽新事業により里山景観を再生します。トラスト14号地では自然観察体験や丸太切り体験を通じて環境教育を行います。



## 災害対策

### 防災意識の向上

地震ハザードマップを更新し、全世帯に配布します。竹間沢東の公園内に防災行政無線の受信施設を新設します。地域での防災訓練に加え、総合型防災訓練を行います。また、新たな防災協定の締結をめざします。



## スマートICフル化

### 安全対策を充実

フル化及び車種拡大については、NEXCO東日本などと連携してIC本体部分の工事に着手するなど、事業の加速化を図ります。供用開始は安全対策の充実を図るため、2021年度以降に変更し、着実な整備を図ります。



## 藤久保拠点

### 基本計画の策定

老朽化が進む藤久保の文化行政ゾーンについては各計画に基づき、意見を伺いながら計画を具体化させます。基本構想の内容をより検討し、施設の設計につなげていくための基本計画の策定を進めます。



## SDGsのまちづくり

### 持続可能なまち

国連が定めた2030年までに達成すべき17の目標SDGs（持続可能な開発目標）について、町独自の表彰制度「三芳SDGsアワード」創設に向け、町内の企業等と連携し、SDGsのまちづくりを進めます。



## みよし野菜

### 三芳町自慢の野菜たち

みよし野菜ブランド化推進研究会によるロゴマークの活用や大学と連携したレシピの開発などを支援します。教育、自然、観光と地域農業を組み合わせ「6次産業+」を行い、農業の振興を農産物の高付加価値化を図ります。



## 環境問題

### かけがえのない資源

ごみの減量化に向けて粗大ごみ有料化への取り組みを進めます。太陽光発電システム設置費用への補助に加え、蓄電池設備に対する補助を実施します。小学生対象の体験型学習で環境問題への関心、リサイクル意識を高めます。



## 公共交通の充実

### バス路線の新設

ライフバスの路線を再編し、交通空白地域などにバス路線を新設します。高齢者の移動をサポートするタクシーやバスの費用への助成は補助額を引き上げます。自動車免許を返納した高齢者への公共交通利用支援を行います。



## 自然の森公園

### 憩い・集いの場所

自然の森・総合スポーツ公園はウォーキングによる健康づくりに活用できるように遊歩道の整備を行います。また、身近なスポーツ・レクリエーション活動の場として、バーベキュー場としての活用を検討します。

